

降誕前第9主日

朝第1礼拝	9:00~10:00
朝第2礼拝	10:30~11:45
〈神の招き〉	
前奏	①われ汝を呼ぶ、主イエスキリストよ バッハ ②神をのみ愛する人は バッハ
招きの詞	詩編72:18~19
交読詩編	8:2~10
讃美歌	13
〈神の言葉〉	
聖書	エレミヤ書32:16~25 (旧約 聖書協会共同訳 1223頁) マルコによる福音書10:17~34 (新約 聖書協会共同訳 80頁)
祈禱	
讃美歌	54
説教	「だれが救われるのか」熊江秀一牧師
祈禱	
黙想	
讃美歌	197
〈神への応答〉	
使徒信条	
献金	
主の祈り	
宣教報告②	
頌栄	29
派遣と祝福	
後奏	①いざわが魂よ、主を誉めよ ブクステフーデ ②神をのみ愛する人は ヴァルター
宣教報告①	

今週の御言葉(マルコによる福音書 10:26~27) 弟子たちはますます驚いて、「それでは、誰が救われることができるのだろうか」と互いに言った。イエスは彼らを見つめて言われた。「人にはできないが、神にはできる。神には何でもできるからだ。」

サテライトチャーチ植竹礼拝	10:30~11:30
夕礼拝	18:00~19:00
〈神の招き〉	
前奏	☒ 神は我が岩 ヴァルター
招きの詞	詩編72:18~19
交読詩編	8:2~10
讃美歌	151
〈神の言葉〉	
聖書	箴言8:22~31 (旧約 聖書協会共同訳 984頁) ヨハネの黙示録21:1~4 (新約 聖書協会共同訳 464頁)
祈禱	
讃美歌	202
説教	「神が人と共に住む」甲賀正彦伝道師
祈禱	
黙想	
讃美歌	15
〈神への応答〉	
使徒信条	
献金	
主の祈り	
宣教報告	
頌栄	29
派遣と祝福	
後奏	☒ 主なる神、わが方にいませずば ツァッハウ
ワーシップ (賛美礼拝) 14:00~15:00 説教「今すでに神の子ども」熊江秀一牧師 ヨハネの手紙一3:1~9b 賛美:永遠にあなたと、どんな時でも、 静まって知れ、キリストの花嫁、他	

次週の礼拝(11月3日) 聖餐式・洗礼式②

① 9:00、② 10:30 説教「仕えて生きる」熊江秀一牧師 詩編84:11~13、マルコによる福音書 10:35~45 交読詩編51:3~11 讃美歌14、 55(②奉唱III-24)、②67、484、81、27	☒ 18:00 説教「贖いの座」甲賀正彦伝道師 イザヤ書44:6~17、 ローマの信徒への手紙3:21~28 交読詩編51:3~11 讃美歌216、149、107、81、27
---	--

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、☒は夕礼拝。

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。 1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に 2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に 3. 11月の宣教の為に 4. 教会バザーの為に 5. 宗教改革記念日(10月31日)の為に 6. 第43回日本基督教団総会の為に 7. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に 8. 病気の兄弟の為に *関東教区お祈りカレンダー 諸川伝道所 筑波学園教会 取手伝道所

◇先週の説教より「主を知るすばらしさ」エレミヤ書29:4~9、フィリピの信徒への手紙3:7~9 甲賀正彦伝道師 この世は能力と業績が大切です。神様も同じように能力と業績で人間を評価するものだと思っていました。神様の戒めを守ることによって、終わりの日には神様に褒められる。褒めていただけるかどうか、それは自分の努力次第だと。 しかし、パウロはイエス様と出会って変わりました。それまで築き上げてきた輝かしいキャリア、正義と努力を「損失・屑」だと言います。それは、自分の正義であり、そこから外れるものは減んでも構わないと思う正義だからです。努力は自分の救いのためであり、自分への愛であり、他者への愛はないのです。だから、それは損失、悪臭を放つゴミです。個人の救いは救いではありません。みんなが救われるから救いなのです。共同体の救い、それは神様への愛と仲間への愛から生まれます。 パウロは、神様から褒めてもらうためにキリスト者を迫害しましたが、褒められるどころか、神様を迫害していたことを知	らされました。彼は自分の正義を捨て去りました。もっと良い正義、他者を愛する正義を知ったからです。それは主を知るすばらしさです。 讃美歌394は「信仰うけつぎ、今日も進みゆこう」と歌います。信仰とはイエス様に大きく頼ることです。固く握りしめた手を緩めること、自分の価値を疑う不安から解放されることです。それが主を知るすばらしさです。私たちが知っているのは、まだほんの一部です。頼るべきイエス様が見えなくなつて揺らぐときがあります。信仰の確信はまだ見えません。でも、信仰を持った先輩たちは見ることができます。信仰は与えられますが、その信仰をうけつぎのは人間だからです。イエス様を信頼して、喜びと安心の中を生きぬいた先輩たちが大勢います。その信仰をうけつぎ、今日も進みゆきましょう。
--	---